

教育哲学研究

第 128 号

2023

特集 異質なものの共在と教育哲学

- 共在に留まる教育者 — マイケル・ハートとアントニオ・ネグリの
〈共〉概念に基づく教育者の役割の検討 — 市川 秀之
- 社交・社会的共感と自己形成の力としての趣味の想像力
..... 池亀 直子
- 教育哲学の存在根拠を揺るがす環境問題にいかに向かうか
— 環境教育を超えて — 今村 光章
- 存在の開けと教育の責務 — ナンシーの存在論から —
システム理論と教育の可能性の条件 木下 慎
- ルーマンにおける「教育の弱さ」とは何か —
他者と共に在るあり方を問う 木村 浩則
- ローゼンツヴァイクの「対話」と「赦し」 —
被爆証言に臨む倫理に向けて 田中 直美
- ヴィトゲンシュタインおよびデリダ＝サル論争から —
技術と共に在ること 平田 仁胤
- デジタル・ゲシュテルの時代における教育のゆくえ —
..... 李 舜志

エッセイ

- いのちの教育を考えるために
..... 坂井 祐円

教育哲学を考える

- 「重要な他者」を再考する 矢田 訓子

書評

- 丸橋静香著『討議倫理と教育 — アーペル、ヨナス、ハーバーマスのあいだ』
..... 太田 明
- 野見収著『断絶としての教育 — アルチュセールにおける革命への問い』
..... 青柳 宏幸
- 山名淳著『記憶と想起の教育学 — メモリー・ペダゴジー、教育哲学からのアプローチ』
..... 吉野 敦
- 渡辺哲男編著『ポップカルチャーの教育思想 — アカデミック・ファンが読み解く現代社会』
..... 上坂 保仁

図書紹介

小笠原道雄著『テオドール・リット：人と作品 ―時代と格闘する哲学者・教育者』

.....野平 慎二

櫻井敏著『今を生きる思想 西田幾多郎 ―分断された世界を乗り越える』

.....高谷 掌子

鈴木篤著『日本における教育学の発展史 ―教育の集合的属性に着目したプロソポグラフィ』

.....宮本 健市郎

英文摘要

教育哲学会